

祖母は市内の中学生の書いた すばらしい人権作文に出会いました。



西脇南中学校の吉田汐里さんの書いた作文が、平成28年度の「全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会」で優秀賞に選ばれました。



私を強くしてくれたみんなの優しさが

西脇南中学校1年 吉田 汐里

今、この世の中では、いじめやぎゃく待、病気など、苦しい状況であることが、テレビやニュースで報じられたり、世界に知れわたったりしています。私は、そんな苦しむ人が増えて欲しくないし、苦しんでいた人でも、また笑顔にもどって欲しいです。だから私は、様々なことで苦しむ中、だれに対しても、一人一人の優しさが必要だと思います。もしも、苦しむ人が周りにいるのなら、私たちが助けることができれば良いと考えます。

どうして私はそう考えたのか、それは、私が苦しんでいた時に、学年みんなの優しさがあったからです。

私は、円形脱毛症という病気になっています。それは、原因が分からず、勝手に髪の毛がぬけていたり、自分で髪の毛を抜いたりしてしまうのです。その上、激しい頭痛がやってくるのです。それはすごく苦しいです。いつかは、みんなにこのことを言わないといけない日が来るんだって分かっていたけど、病気になって日が経つにつれ、それがすごくこわくなってきました。みんながこのことを受け入れてくれるのか分からなくなり、不安になったのです。

ある体育の授業で鉄棒をしました。その

時、私も予想をしていなかったことが起きたのです。私はウィッグを付けているのですが、それが取れてしまったのです。その時は、大きな大きなショックを受けました。私は、保健室でぼろぼろ涙を流して泣いていました。「これからみんなに、どう接したらいいのだろうか。」と考えながら。すると、当時担任だった先生が、「大丈夫？教室にもどろう。」と言って、迎えに来てくださいました。ちょっとこわかったけど、教室へ戻りました。教室に入った瞬間、私は、ホッとしました。なぜなら、クラスのみんなが私にニコッと笑顔で、

「おかえり。」と、言ってくれたのです。そして、何より驚いたのはその後でした。委員長から、ある物を渡されました。それは、小さな紙束でした。渡された時は、何だろうこれって思ったけど、読んでみるとその紙束には、クラスみんなからのメッセージがたくさん書いてあったのです。「大丈夫だよ。」「病気だとしても、汐里は大切なクラスの一員だよ。大切な友だちだよ。」「何があっても、汐里をクラスみんなまで支えるから。」「また、明るい笑顔で絵を描い

てよ。」・・・どの言葉も温かくて優しい言葉でした。そのメッセージの紙を何枚も何枚も読んでみると、涙がまた出てきました。でも、それはみんなに病気がバレた時の悲しい気持ちがある涙ではなく、うれしい気持ちがある涙でした。その手紙に私は何回も何回も泣かされました。それは、私のことを「大切な友だち、クラスの一員」だと思ってくれる人が、何人もいたことが、何よりもうれしかったからです。

私はこのことで、病気が怖くなくなりました。早く病気を治さなきゃって思うようになりました。そして、私は一・二年かけて、病気を治しました。

でも、辛かったのはその後でした。何が原因なのか分からない、また髪の毛が抜けていったのです。やっと治ったのに、またこんな苦しいことになるなんて・・・。すごくすごく胸が苦しかったです。

でも、私は、学年のみんなに病気のことを言おうと決めました。私は、みんなならきっとこのことを受け入れてくれるはずだと信じたのです。びっくりした人もいるのではないかと思ったけど、病気のため、これから帽子で登校することをみんなは受け

入れてくれたのです。私はこのことからまた笑顔に戻りました。病気になんて負けちゃいけない、頑張ろうって思いました。

でも、私は最近、テレビであることを知りました。「今、世界で大変苦しい思いをしている人が多い。」ということ。でも、その中では今、助けを求めている人もいます。私も辛いことを経験した一人だから、「すごく苦しいんだろうな。」「辛いんだろうな。」って思います。だから、私は世界中の人々が、私と同じ学年のように、苦しいことを受け入れて、優しい心をもてるようになれば良いなって思いました。

自分の体験や見たこと、聞いたことから、一人一人の優しさが大切だと考えるのです。でも、苦しんでいる人も、周りにいるみんなを信じてください。私は病気に初めてなった時、みんなのことを信じていなかったのかもしれませんが、でも、私は学年のみんなの優しさがあるからこそ、辛い病気に負けず、今まで戦ってこられました。私は、ここにいるみんなが笑顔になって欲しいです。そのためにも、今の私にできることを精一杯しようと思います。



全国中学生人権作文コンテスト
兵庫県大会表彰式(神戸クリスタルタワー)

吉田 汐里さんへのインタビュー

- Q1** 自分の書いた作文が、県の優秀賞に選ばれてどう思いましたか？
- A1** 作文は、私の病気と友だちとの体験談をもとに書いたものですが、優秀賞として選ばれたとき、驚きと嬉しさでいっぱいでした。
- Q2** この作文を書いて、何か変わったことがありましたか？
- A2** 大きく変わったことはありません。周りにいるみんなの優しさは今でも変わっていません。でも、人権のことを改めて考え直すことができれば良いなと思います。